

当院における人參養栄湯が有効であった3症例

藤田医科大学医学部内科学ばんだね病院 呼吸器内科(愛知県) 廣瀬 正裕

呼吸器疾患には様々な病気があり、多くの患者は症状が進行すると倦怠感・食欲不振・体重減少・Activities of Daily Living (ADL) の低下などが出現し、Quality of life (QOL) が低下する。原疾患に対する治療、リハビリテーション、栄養指導、酸素投与などを併用しながら病状を改善する様に試みるが、良好な結果を得られる症例は少ない。そこで、呼吸器疾患患者の倦怠感・食欲不振・体重減少・ADLの低下に対して有効とされる人參養栄湯を投与し、その有用性について検討した。

Keywords 人參養栄湯、特発性肺線維症、肺アスペルギローマ、肺非結核性抗酸菌症、誤嚥性肺炎

はじめに

慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease : COPD)、肺癌、誤嚥性肺炎、肺非結核性抗酸菌症、間質性肺炎などの呼吸器疾患が進行すると、倦怠感・食欲不振・体重減少・ADLの低下などが多くみられる。

人參養栄湯は、様々な呼吸器疾患に対し、多くの有効性の実証されている。

そこで、当院で倦怠感・食欲不振・体重減少・ADLの低下した呼吸器疾患患者に、人參養栄湯 7.5g/日(分2)を投与し有効であった3症例を報告する。

症例1 特発性肺線維症 (idiopathic pulmonary fibrosis : IPF)、左肺下葉アスペルギローマ

6X歳男性。200X年からIPFで外来通院中、当初ベタメタゾン 0.5mg/日投与と在宅酸素療法を導入。経過中、関節リウマチ (rheumatoid arthritis : RA) が出現し免疫抑制剤の投与が開始され、プレドニゾロン 10mg/日に変更。200X年ピルフェニドン 1800mg/日投与するも効果なく、発赤の副作用もあり、201X年ニンテダニブエタンスルホン酸塩 300mg/日に変更。

201X年に肺MAC (mycobacterium avium complex) 症を合併し、リファンピシン (RFP) 450mg+エタンブトール塩酸塩 (EB) 750mg+クラリスロマイシン (CAM) 800mgの投与を開始し、約3年で終了。

また、200X年1月と比べ201X年8月左肺下葉の嚢胞内に腫瘤陰影が増大傾向(図1)だったため、202X年2月気管支鏡検査を行い、肺アスペルギローマと診断した。

202X年2月ボリコナゾール 300mg/日の投与を開始するも肝機能障害が出現し、202X年4月イトラコナゾール

200mg/日へ変更。陰影は縮小傾向となった(図2)。

しかし、倦怠感、体動時息切れの症状が徐々に進行し、歩行距離の低下が認められた。202X年6月人參養栄湯の投与を開始した。

人參養栄湯投与後の経過を示す(表1)。

図1 症例1 左肺下葉の嚢胞内に腫瘤陰影が増大傾向

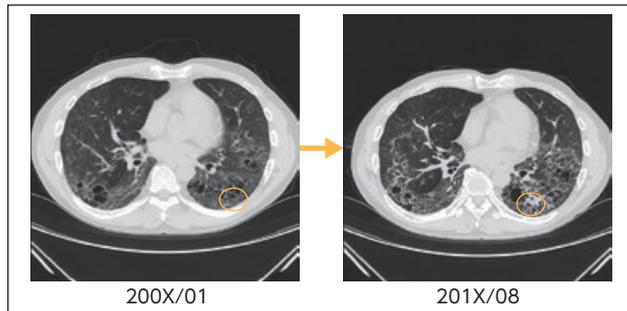


図2 症例1 イトラコナゾール投与後：陰影は縮小傾向

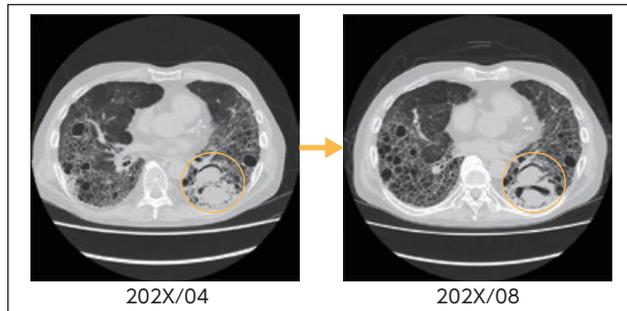


表1 症例1 人參養栄湯投与後の経過

人參養栄湯	投与前	投与8週後	投与16週後	投与24週後
6分間歩行距離	290m	303m	320m	328m
最低酸素飽和度	SpO ₂ 86%	SpO ₂ 86%	SpO ₂ 87%	SpO ₂ 89%
自覚症状	酸素吸入していても直ぐ息が苦しくなる倦怠感が進行	余り変わらない気がする	以前に比べて動いても苦しくない気がする倦怠感も回復	以前より動いても苦しくない倦怠感も回復

症例2 肺非結核性抗酸菌症

8X歳女性。202X年2月頃から、軽い乾性咳嗽、微熱、倦怠感が持続していた。既往歴はなく、ここ数年は健康診断を受けていなかった。202X年6月、近医を受診され紹介受診。

初診時の採血でWBCは正常、CRP、血沈1時間値の軽度上昇を認めた。初診時の画像を示す(図3)。

202X年7月気管支洗浄液で抗酸菌塗抹1+、MAC-PCR陽性、培養でもMAC陽性。202X年8月RFP 300mg+EB 500mg+CAM 800mgの投与を開始したが、約6ヵ月で食欲・ADLの低下が進行し、治療中断。

その後、約1ヵ月たってもADLの改善がなく、体重減少も進行したため人參養榮湯の投与を開始した。

人參養榮湯投与後の経過を示す(表2)。

図3 症例2 初診時の画像

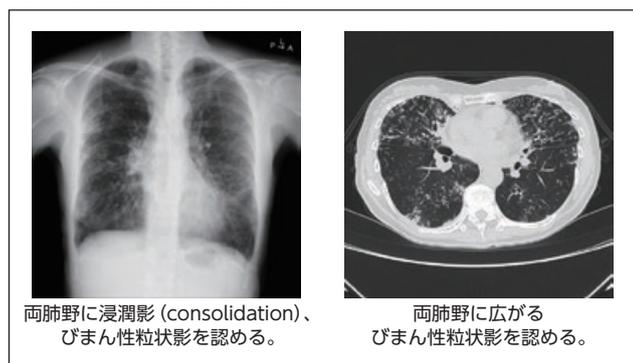


表2 症例2 人參養榮湯投与後の経過

人參養榮湯	投与前	投与4週後	投与8週後	投与12週後
自覚症状	倦怠感 食思不振	症状改善傾向	以前と同様な状態に戻った	以前より体調が良い
体重	49kg→45kg	47kg	49kg	50kg
Alb	3.2g/dL →2.6g/dL	2.8g/dL	3.1g/dL	3.2g/dL

症例3 誤嚥性肺炎

8X歳男性。202X年2月に近医より紹介受診。3日前から発熱と湿性咳嗽が出現。

約2年前より食事中にむせることが多かった。1年前から同様の症状で2回入退院を繰り返し、嚥下リハビリなども行っていた。以前と比べ、徐々にADLの低下を認めている。約1ヵ月前にも誤嚥性肺炎で12日間入院していた。

受診時の採血でWBC 12000/ μ L、CRP 12.56mg/

dL、BUN 32mg/dLの高値。受診時の画像で右下肺野に肺炎像を認めた(図4)。

既往歴で2年前に脳梗塞を発症したが麻痺は軽度、HbA1c 8.9%と糖尿病コントロール不良。身体所見は右中下肺野に湿性ラ音、BP 82/60mmHg、SpO₂ 92%と低血圧・低酸素状態であった。

入院後、補液と抗生剤のスルバクタムナトリウム/アンピシリンナトリウム(SBT/ABPC)を投与し10日で改善した。しかし、以前よりADLは低下したため、栄養指導、リハビリと外来での人參養榮湯の投与を開始した。

人參養榮湯投与後の経過を示す(表3)。

図4 症例3 受診時の画像

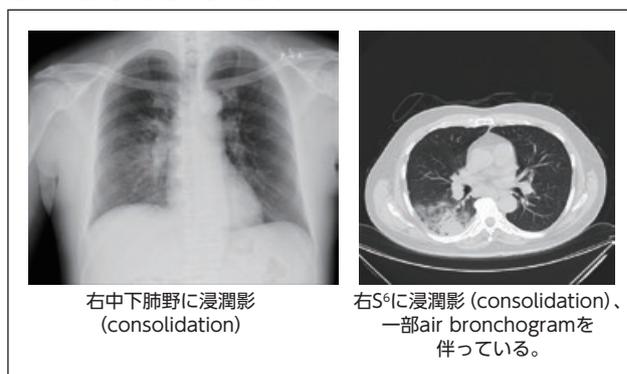


表3 症例3 人參養榮湯投与後の経過

人參養榮湯	投与前	投与8週後	投与16週後	投与24週後
自覚症状	倦怠感 食思不振 嚥下機能低下	症状改善傾向 食事摂取改善傾向	症状改善 食事摂取で時々むせるが以前より回復	以前より良い
ADL	下肢筋力低下があり歩行困難	介助で杖歩行	杖歩行可能	左記同様
Alb	3.1g/dL →2.4g/dL	2.9g/dL	3.2g/dL	3.2g/dL

考 察

漢方薬では、補中益気湯・十全大補湯・人參養榮湯などが、体力低下・食欲不振・病後の易疲労感・貧血などで使用されている。人參養榮湯は、十全大補湯と構成生薬が似ているが、食欲不振・気分障害・倦怠感に加え、慢性的な呼吸器症状(喀痰分泌亢進など)に作用する生薬が含まれているのが特徴である。

COPD患者のフレイルに対して人參養榮湯が身体活動性やQOLの改善に効果を示したとされている^{1,2)}。他にも

肺癌、肺MAC症、間質性肺炎などの様々な呼吸器疾患において、倦怠感・食欲不振・体重減少・ADLの低下を改善したとの多数の症例報告がある³⁻⁵⁾。

また、人參養榮湯の作用機序の1つには、視床下部にある神経ペプチドY(NPY)と胃から放出されるグレリンを介した食欲亢進作用⁶⁾や抗サルコペニア作用⁷⁾がある。また、グレリン-NPYの下流にはオレキシンが存在し、これも食欲促進作用や行動活性化をもたらすものと考えられる⁸⁾。

他にも、加齢に伴う小腸機能低下を抑制する作用⁹⁾など、様々なことが示唆されている。

そこで、当院も積極的に呼吸器疾患が原因で倦怠感・食欲不振・体重減少・ADLの低下している患者に、原疾患に対する治療、リハビリテーション、栄養指導、酸素投与などに併用して人參養榮湯の投与を進め、良好な結果が得られている。

今回提示した3症例では、症例1は6分間歩行距離の増加、最低酸素飽和度の上昇、倦怠感・息切れ症状の改善。症例2は倦怠感・食欲不振の症状改善、体重増加、血清

Alb値が上昇。症例3は倦怠感・食思不振・嚥下機能低下の改善、下肢筋力が増加し歩行可能となり、血清Alb値が上昇している。これらの結果から、人參養榮湯を併用することで、より効果が得られたことを示した。現在、3症例とも副作用は認めず、継続加療中である。

結 語

今回、倦怠感・食欲不振・体重減少・ADLの低下した呼吸器疾患患者に、人參養榮湯を投与し有効であった症例を経験した。

このような症例に対して、原疾患の治療、リハビリテーション、栄養指導、酸素投与だけでなく、人參養榮湯を追加することも有用であることが示唆された。

今後、呼吸器疾患を含め、消耗性疾患患者に対して、QOLが低下する前に、積極的に人參養榮湯の投与を行っていきたい。

【参考文献】

- 1) Hirai K, et al: Improvement in Frailty in a Patient With Severe Chronic Obstructive Pulmonary Disease After Ninjin'yoeito Therapy: A Case Report. *Front Nutr.* 2018 Sep 4; 5: 71. doi: 10.3389/fnut.2018.00071. eCollection 2018
- 2) Hirai K, et al: Usefulness of Ninjin'yoeito for chronic obstructive pulmonary disease patients with frailty. *J Altern Complement Med.* 2020 Aug; 26: 750-757. doi: 10.1089/acm.2020.0083. Epub 2020 Jun 17
- 3) Kushima H, et al: Case Report: Efficacy of Ninjin'yoeito Treatment for Idiopathic Pulmonary Fibrosis. *Front Nutr.* 2021 Apr 29; 8: 548076. doi: 10.3389/fnut.2021.548076. eCollection 2021
- 4) 西川正憲: 肺癌、COPD、肺MAC症での人參養榮湯の使用経験. *phil漢方* 91: 10-12, 2022
- 5) 畑地 治: 呼吸リハビリテーションと人參養榮湯併用が効果を認めた2症例. *phil漢方* 91: 13-15, 2022
- 6) Goswami C, et al: Ninjin-yoeito activates ghrelin-responsive and unresponsive NPY neurons in the arcuate nucleus and counteracts cisplatin-induced anorexia. *Neuropeptides* 75: 58-64, 2019
- 7) Ohsawa M et al: Effect of Ninjin'yoeito on the Loss of Skeletal Muscle Function in Cancer-Bearing Mice. *Front Pharm.* 2018 Nov 30; 9: 1400. doi: 10.3389/fphar.2018.01400. eCollection 2018
- 8) 乾 明夫: がん緩和医療と人參養榮湯 - より良き支持療法を目指して. *phil漢方* 71: 13-17, 2018
- 9) 唐 方 ほか: 加齢に伴うマウスの小腸粘膜の変化に対する漢方薬の作用 - 六君子湯, 補中益気湯, 人參養榮湯, 半夏瀉心湯エキス剤の作用 -. *日東医誌* 48: 7-15, 1997